

令和6年度 予算 「前期計画の総仕上げ！そして新時代へー」

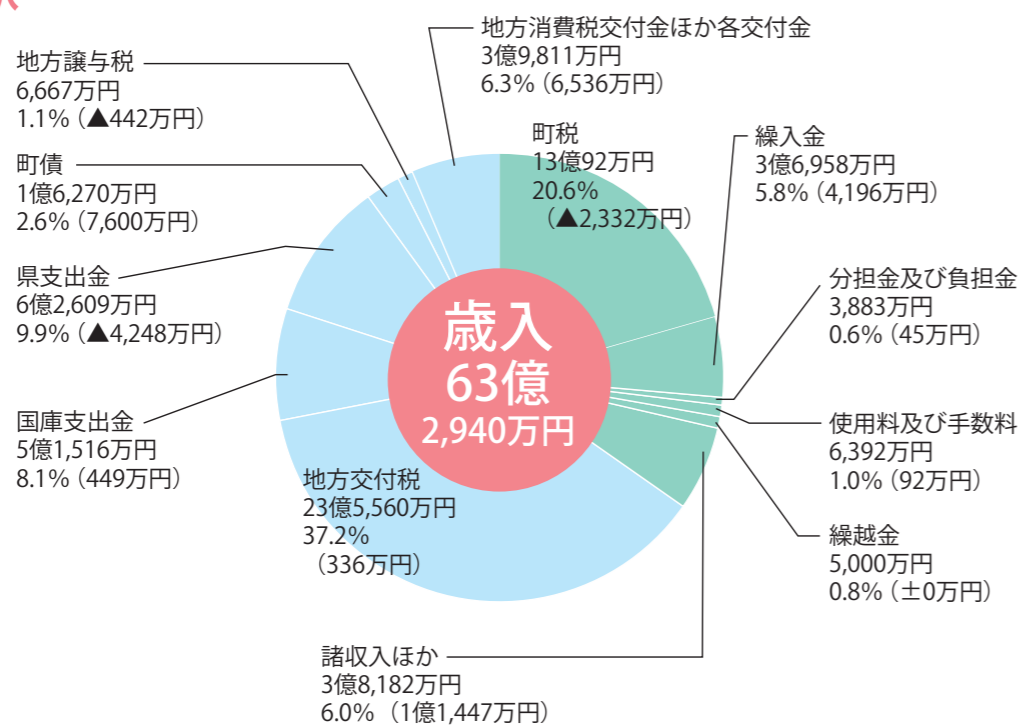
予算特別号については、令和6年度予算の概要、総合計画に掲げる6つの方針に基づく重点プロジェクトおよび主要事業を掲載しています。

一般会計当初予算

63億2,940万円

令和6年度の当初予算は、予算総額は63億2,940万円となりました。前年度に比べると2億3,680万円(3.9%)の増となりました。

歳入内訳



※%は総額に占める構成比
()は対前年度増減額を表示

自主財源 22億507万円 (1億3,448万円)
依存財源 41億2,433万円 (1億231万円)

歳入の特徴

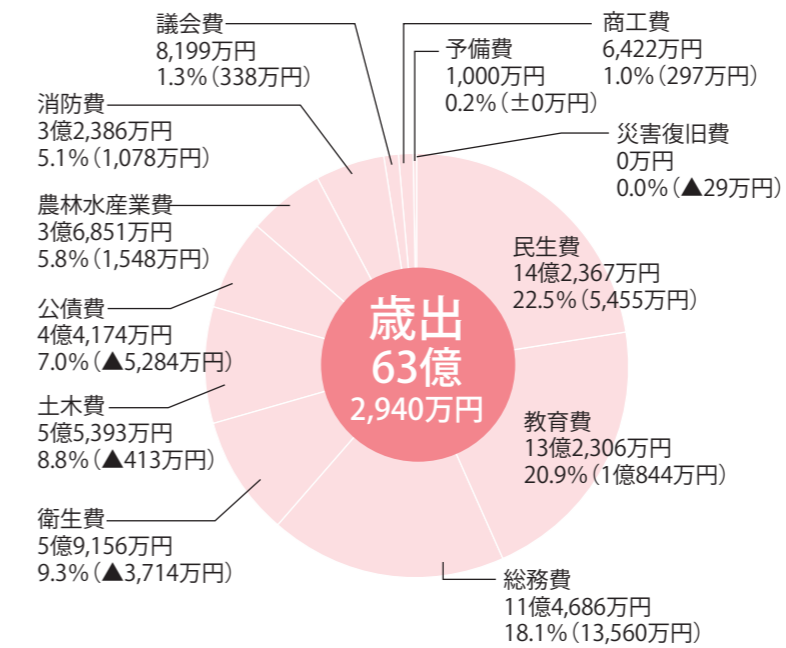
【自主財源】

歳入の約35%を占める自主財源は22億507万円で、前年度比1億3,448万円の増額を見込みました。その主な要因は、定額減税により町民税が減収となった一方、返礼品の町産桃が好評を博していることから、ふるさと納税寄附金の増額を見込んでいます(内訳はグラフのとおり)。

【依存財源】

歳入の約65%を占める依存財源は41億2,433万円で、前年度比1億231万円の増額を見込みました。主な要因は、新型コロナウイルスワクチン接種が令和6年度から定期接種として実施されることから関連する国庫支出金が皆減となる一方、町道修繕工事などに係る町債の借入や、地方特例交付金の増額を見込んでいます(内訳はグラフのとおり)。

目的別歳出内訳



歳出の特徴

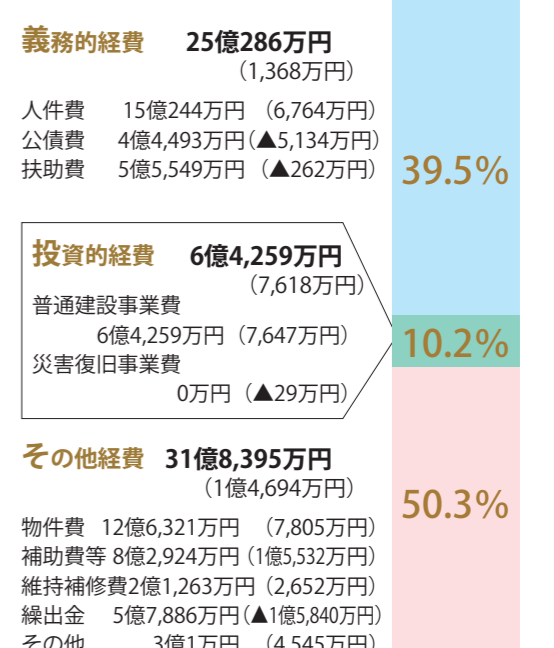
【目的別歳出】

目的別にみた歳出の内訳については、上段左のグラフのとおりです。民生費、教育費、総務費の順に多くなっており、民生費では「児童手当支給や学童施設運営などの児童福祉事業」・「障がい者支援事業」・「高齢者福祉事業」、教育費では「認定こども園施設整備費補助事業」・「給食費保護者負担軽減事業」、総務費では「ふるさと納税推進事業」・「地方公共団体情報システム標準化対応事業」へ多くの予算を配分しています。

【性質別歳出】

性質別にみた歳出の内訳については、上段右のグラフのとおりです。公共下水道事業特別会計から公営企業会計へ移行したことに伴い、繰出金が減額となり、補助費等が増額となっています。物件費については、地方公共団体情報システム標準化対応事業などにより委託料が増額となり、普通建設事業費については道路維持管理事業により増額となっています。また、会計年度任用職員への勤勉手当の支給により人件費が増額となる一方で、公債費については、既地方債の完済や令和4年度町債の借入額が圧縮されたことで減額となっています。

性質別歳出内訳



用語の説明

【一般会計】

福祉や教育・土木といった一般的な事業に使われ、町の事業の基本となる会計

【自主財源】

町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金

【依存財源】

地方交付税など、国や県の意思によって額が決められ割り当てられるお金

【町税】

町民の皆さんが町に納める税金

【繰入金】

各種基金の取崩しや他会計から繰り入れるお金

【地方交付税】

自治体の財政力に応じ、国から交付されるお金

【国庫・県支出金】

特定の目的のために国や県から交付されるお金

【町債】

国や銀行などからの借入金

【臨時財政対策債】

地方財政収支の不足額を補てんするため、自治体が特例で発行し、その返済額については全額地方財政措置される特別な町債

【民生費】

高齢者・障がい者・児童などの福祉や保育所などに使うお金

【教育費】

幼稚園、小学校、中学校などの教育・文化・スポーツ振興などに使うお金

【総務費】

町政全般の管理経費などに使うお金

【土木費】

道路や公園の整備・維持管理などに使うお金

【公債費】

借入金(町債)の返済に使うお金

【衛生費】

各種検診や予防接種、ごみ処理などに使うお金

【消防費】

消防・水防・災害対策(原発事故対策を含む)に使うお金

【農林水産業費】

農林水産業の振興や農道・林道などの整備に使うお金

【商工費】

商工業や観光振興などに使うお金

【議会費】

議会運営に使うお金

【災害復旧費】

災害によって生じた被害の復旧に使うお金

【扶助費】

児童や高齢者、生活困窮者を援助するために使うお金

【普通建設事業費】

道路、学校、公園などの公共施設の新設・増設などに使うお金

【物件費】

委託料、旅費などに使うお金

【繰出金】

他会計や各種基金へ繰出すために使うお金

【補助費等】

様々な団体への補助金、負担金などに使うお金

【町民1人あたりの歳出予算額】

()は対前年度増減額

総務費	民生費	教育費	衛生費
町政全般の管理経費などに使うお金 10万3,788円 (1万3,730円)	高齢者・障がい者・児童などの福祉や保育所などに使うお金 12万8,839円 (6,912円)	幼稚園、小学校、中学校などの教育・文化・スポーツ振興などに使うお金 11万9,734円 (1万1,566円)	各種検診や予防接種、ごみ処理などに使うお金 5万3,535円 (▲2,454円)
公債費	土木費	消防費	農林水産業費
借入金(町債)の返済に使うお金 3万9,976円 (▲4,069円)	道路や公園の整備・維持管理などに使うお金 5万129円 (431円)	消防・水防・災害対策(原発事故対策を含む)に使うお金 2万9,309円 (1,428円)	農林水産業の振興や農道・林道などの整備に使うお金 3万3,349円 (1,910円)
商工費	議会費	予備費	災害復旧費
商工業や観光振興などに使うお金 5,812円 (358円)	議会運営に使うお金 7,420円 (419円)	使いみちを限定せず予算計上し、軽微な補正に対処するためのお金 905円 (14円)	災害によって生じた被害の復旧に使うお金 0円 (▲26円)
歳出総額 57万2,796円 (3万219円)			

※令和6年1月1日現在の住民基本台帳人口11,050人を基に算出しています。

各会計の予算額

会計名		令和6年度	令和5年度	増減額	対前年伸率	
一般会計		63億2,940万円	60億9,260万円	2億3,680万円	3.9%	
特別会計	国民健康保険	12億9,165万円	13億3,711万円	▲4,546万円	▲3.4%	
	後期高齢者医療	2億842万円	1億8,963万円	1,879万円	9.9%	
	介護保険	17億1,037万円	17億1,426万円	▲389万円	▲0.2%	
	半田財産区	57万円	42万円	15万円	35.7%	
公営企業会計	水道事業会計	収益的収入	3億6,713万円	3億6,555万円	158万円	0.4%
		収益的支出	3億5,674万円	3億5,636万円	38万円	0.1%
		資本的収入	2,700万円	—	皆増	皆増
		資本的支出	1億2,486万円	9,477万円	3,009万円	31.8%
	下水道事業会計	収益的収入	2億5,464万円	—	皆増	皆増
		収益的支出	2億5,170万円	—	皆増	皆増
		資本的収入	1億4,077万円	—	皆増	皆増
		資本的支出	1億8,669万円	—	皆増	皆増

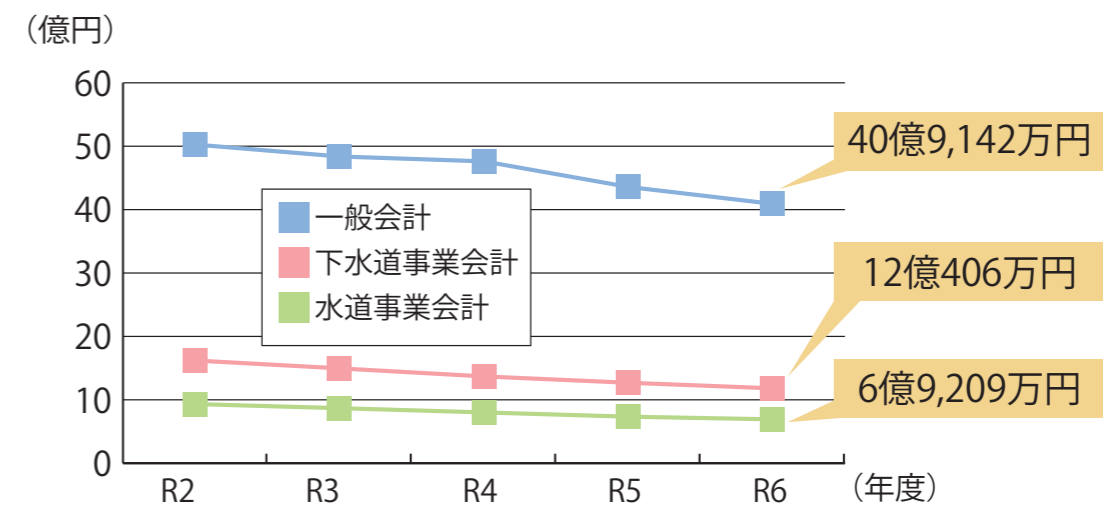
各種基金(貯金)の現在高

各会計の基金現在高については次の表のとおりです。

会計区分	基金名	令和4年度 年度末残高	令和5年度 年度末残高見込	令和6年度 年度末残高見込
一般会計	財政調整基金	14億2,057万円	15億1,257万円	13億6,815万円
	減債基金	1億3,375万円	1億3,375万円	1億3,376万円
	その他特定目的基金	9億6,863万円	12億989万円	11億8,621万円
	土地開発基金	1億2,021万円	1億2,021万円	1億2,021万円
	その他定額運用基金	8,000万円	8,000万円	8,000万円
	合計	27億2,316万円	30億5,642万円	28億8,833万円
国民健康保険特別会計	国民健康保険基金	8,409万円	8,910万円	8,910万円
介護保険特別会計	介護給付費準備基金	1億1,915万円	1億8,005万円	1億7,718万円
半田財産区特別会計	半田財産区財政調整基金	1,836万円	2,050万円	2,008万円

各会計の借入金残高の推移

一般会計の借入金(町債)、水道事業会計及び下水道事業会計の借入金(企業債)の残高の推移はグラフのとおりです。なお、町債については、その元利償還金の一定割合が「地方交付税」に算入・交付されるものを活用し、後年度における財政負担の軽減を図っています。



※借入金残高及び基金残高について、令和5年度末及び令和6年度末として掲載している金額は3月末日現在の見込みであり、確定した金額ではありません。